

多文化共生に関する シンポジウム

入場無料

定員190名
先着順

と 2014年6月10日(火) [12時30分開場]
き 13時～17時

同時通訳付
日本語・英語

と 同志社大学 今出川キャンパス 礼拝堂(チャペル)
ころ

多文化共生社会における普遍的価値観の共有

現在、宗教的対立や経済的不平等が阻害要因となり、国際協調が様々な領域で困難となっている。また途上国における人口爆発が水資源の不足や食料枯渇を引き起こし世界的規模の気候変動による大規模災害のリスクも増大している。

このような状況において、文化的・宗教的対立を乗り越えた普遍的価値観を共有し様々な危機的問題の持続可能な解決に取り組むことが次世代の為に急務である。

普遍的価値観の共有には異なる文化・宗教間の相互理解が必須でありそのために教育というものが大きく貢献する。

本シンポジウムでは、このような文化的・宗教的対立を超える普遍的価値観を明確化し国際協調による様々な国際問題への解決を促進する提言をおこなう。

■プログラム 13:00～15:55 パネリストによる発表(14:20～14:35に休憩)
16:10～17:00 パネルディスカッション

■パネリスト **Stephen Hill** (Emeritus Professor, University of Wollongong, Australia)
Philippe Delanghe (UNESCO Office, Phnom Penh, Cambodia)
Gavin Parker (Professor, University of Reading, UK)
Serrano Sianturi (Professor, Sacred Bridge Foundation, Indonesia)
Stomu Yamash'ta (Artist, Kyoto, Japan)

■コーディネーター 同志社大学 経済学部 教授/創造経済研究センターセンター長 河島 伸子

■司会 同志社大学 創造経済研究センター 特別研究員(PD) Grace Gonzalez

■実施責任者 同志社大学 経済学部 教授 八木 匡

■主催 同志社大学創造経済研究センター

■共催 同志社大学博士課程教育リーディング・プログラム グローバル・リソース・マネジメント(GRM)
同志社大学ライフリスク研究センター

■協力 株式会社 サウンド・コア

■後援 京都府 京都市